

**【移行期間版】**  
**外国語活動 読む・書く活動**  
**～秩父市文字指導指針～**



**平成30年3月**

**秩父市英語教育推進委員会**

**秩父市教育委員会**

移行期間における外国語活動 読む・書く活動  
～秩父市文字指導指針～ 目次

1	文字（アルファベット）の指導	3
	（1）アルファベットの指導目標	
	（2）文字の識別	
	（3）アルファベットを読む	
	（4）4線に書く	
2	「読むこと」の指導	4
	（1）基本方針	
	（2）読むこと目標	
	（3）目標実現のための言語活動	
3	「書くこと」の指導	5
	（1）基本方針	
	（2）書くこと目標	
	（3）目標実現のための言語活動	
4	指導の3ステップ	6
	（1）読むこと	
	（2）書くこと	
5	ローマ字の扱い 秩父市ローマ字指導指針	7
6	読む書く活動で活用できる教材	8
	（1）読む活動	
	（2）書く活動	
7	年度別・学年別指導内容	9
	（1）平成30年度（移行期1年目）	
	・第3学年	9
	・第4学年	9
	・第5学年	10
	・第6学年	13
	（2）平成31年度（移行期2年目）	
	・第3学年	19
	・第4学年	19
	・第5学年	20
	・第6学年	23

# 移行期間における外国語活動 読む・書く活動 ～秩父市文字指導指針～

## 1 文字（アルファベット）の指導

### （1）アルファベットの指導目標

- ①大文字・小文字を識別することができる。
- ②大文字・小文字を見て読む（名前読み）ことができる。
- ③大文字・小文字の音読みは慣れ親しませる。
- ④大文字・小文字を4線に書くことができる。

### （2）文字の識別（第3学年から）

HRT や ALT が発音する名前読みを聞いて、どのアルファベットなのかわかるということ。

（例）いくつかの黒板に貼ってあるアルファベットのカードから、「エイ」という発音を聞いて **A** のカードを選ぶ。

### （3）アルファベットを読む（5年生から）

#### ①名前読み

この発音については定着が求められる。ABC を「エイ」、「ビー」「スイー」と発音すること。

#### ②音（おん）読み

この発音については慣れ親しみ程度の指導とする。アルファベットは単語の中に入ると発音が名前読みから音読みに変わる。

（例）cat という単語の中の c,a,t はそれぞれ「ク」、「アエ」、「トゥ」という音に変わる。この音が集まって語彙の発音となる。そのようなことに気づかせること、慣れ親しませることで中学校への円滑な連携を図る。

### （4）4線に書く（5年生から）

大文字、小文字とも5文字を4線に書くことができるようにする。

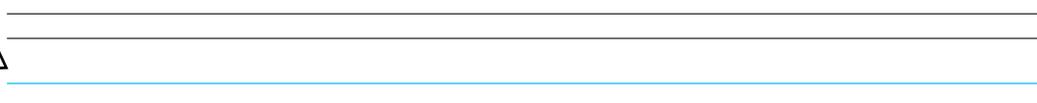
#### \*留意点①【書く活動の量や方法】

1時間でも多くの時間を費やして書き取りの活動は、英語嫌いの要因になりかねないことから、児童の実態に併せて、帯活動のように短時間の積み重ねで行う。ワークシートは文部科学省が提供している Hi, friends Plus のワークシートや文部科学省の HP にアップされている（市教委で CD-ROM にダウンロードして各学校に配布）ワークシートを活用する。

### \*留意点②【特殊な4線】

新教材のワークシート等で活用する4線については、下のよう  
に第2線と第3線の間が通常より広くなったものを使用している。  
これは、一般的に2線と3線の間を書くアルファベットが多く、  
児童にとって書きやすい幅にしてあること、また書くこと等に支  
援が必要な児童にとっても書きやすくすることを目的とし、この  
ような様式の4線を活用している。

第2線と第  
3線の間が  
広く設定



## 2 「読むこと」の指導

### (1) 基本方針

- ①読むことの指導は第5学年及び第6学年で行う。
- ②読むことの指導はアルファベット52文字の指導が終了してから行う。
- ③読むことの指導は初出の語句や表現を児童に読ませるということはない。

### (2) 読むこと目標

#### 読むこと目標

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

### (3) 目標実現のための言語活動

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。

- ①アルファベット大文字・小文字の識別をする活動
- ②アルファベット大文字・小文字の名前読みをする活動

- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

- ①アルファベットの音読みに慣れ親しませる活動
- ②十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を音声が続いて目で追ったり、指差ししたり、声に出して読んだりする。
- ③十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を見て、音に出してみたりすることで、意味を推測する活動。

### 3 「書くこと」の指導

#### (1) 基本方針

- ①書くことの指導は第5学年及び第6学年で行う。
- ②書くことの指導はアルファベット52文字の指導が終了してから行う。
- ③書くことの指導は語句や文を産出させる（何もないところから書かせる）ことはしない。

#### (2) 書くこと目標

##### 書くこと目標

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

#### (3) 目標実現のための言語活動

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

##### ①アルファベット大文字・小文字を4線に書く活動

＊書き順等にこだわった指導をする必要はない。

##### ②音声で慣れ親しんだ語句や表現を書き写す活動

⇒ 文を構成する単語の並び、法則性に気づかせる。

(例) 文は大文字で始める。文末はピリオドで終える。

語と語の間にはスペースがある。など

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

##### ①音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、例文を参考に書く活動。

⇒ 何もないところから英作文をする、という活動は行わない。参考の英文を示し、文の一部を変えることで、自己表現をするような活動を行う。その際、変える部分に入れる語句については、例を示し、児童はそこから語句を選び、文を完成させる。

(例文)

**I like blue.** 私は青色が好きです。

(自分の文)

**I like \_\_\_\_\_.**

下線部に自分の好きな色を書く。(下の語句例から選んで書く)

語句例

赤色 **red**

黄色 **yellow**

緑色 **green**

紫色 **purple**

黒色 **black**

白色 **white**

#### 4 指導の3ステップ

##### 読むこと

新教材の中で細かなステップを踏んでいる

ステップ1 文字レベル (アルファベットの発音)

ステップ2 文字や文を見ながら音声が続いて言う

ステップ3 推測しながら読む

⇒ いきなり初出の語句や文を読ませることはしない

##### 書くこと

新教材の中で細かなステップを踏んでいる

ステップ1 文字レベル (アルファベットを4線に書く)

ステップ2 書き写す

ステップ3 例文を参考に書く

⇒自分の表現したい内容を英文に書かかせる指導はしない  
(何も見ないで書かせるなどの文を産出するような活動はしない)

## 5 ローマ字の扱い

- ・小学校3年生の国語科でローマ字の指導が行われる。(2学期)
- ・小学校3年生国語科のローマ字の指導では「訓令式」を指導する。
- ・高学年外国語活動においては、ローマ字について、日本語と英語とは違うことをしっかり指導する。(国際的な共通語として英語を使用する観点から)
- ・ヘボン式ローマ字を小学校5～6年生の外国語活動で必ず扱う。  
\*ローマ字の学び直しをする。(自分の名前を書く単元において等)

小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 (平成29年7月)

### 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い

#### (1) 指導計画の作成上の配慮事項

小学校第3学年国語科におけるローマ字表記の学習について言及

- ・第1表(訓令式)を扱い理解させる。
- ・第2表(ヘボン式と日本式)

#### ○外国語活動(3・4年生)における扱い

「例えば、ヘボン式ローマ字で地名が表記されている観光地の看板等を掲示するなど、地名などはできるだけ日本語の原音に近い音を英語の使用する人々に再現してもらうために、訓令式の si や ti ではなく、ヘボン式の shi や chi が使われていることを知らせることが考えられる。

#### ○外国語(5・6年生)における扱い

高学年の外国語科においては、国際的な共通語として英語を使用する観点から、できるだけ日本語の原音に近い音を使用する人々に再現してもらうために、第2表に掲げた綴り方のうち、いわゆる「ヘボン式ローマ字」で表記することを指導する。

### 秩父市ローマ字指導指針

- 1 小学校国語科で指導するものとは別に考え、外国語活動で教えるローマ字として認識する。
- 2 小学校外国語活動及び外国語科で指導するローマ字は「ヘボン式」とする。(いかなる学年においても)
- 3 外国語活動におけるローマ字指導は3年生では行わない。
- 4 4年生で扱う場合は自分の名前をヘボン式ローマ字で書くことを目的とする。  
(学年や、学期の始めにネームカードを書く活動を行う 等)
- 5 5・6年生では必ずヘボン式ローマ字を扱うが、最低限自分の名前、及び「秩父」は書けるように指導する。

## 6 読む・書く活動で活用できる教材

### (1) 読む活動

#### ①Hi, friends! Plus デジタル教材

- ・アルファベットの文字の認識
- ・アルファベットの読み方と音
- ・アルファベットジングル

#### ②We can!

- ・ Sounds and letter (アルファベットの音読み)
- ・ Jingle (アルファベットの音読み)
- ・ Let's Read and write
- ・ Let's Read and watch
- ・ Story Time

#### ③新教材ワークシート

### (2) 書く活動

#### ①Hi, friends! Plus デジタル教材

- ・アルファベットの大文字、小文字の書き方

#### ②Hi, friends! Plus ワークシート集

- ・アルファベット大文字・小文字を書く活動

#### ③We can!

- ・ Let's Read and write

#### ④Let's do *Kakiutsushi!*

- ・書き写す活動

#### ⑤新教材ワークシート

- ・例文を参考に英文を書く活動

## 7 年度別・学年別指導内容

平成30年度（移行期1年目）

### H30 第3学年

#### 文字（アルファベット大文字）の認識

- ・ Let's Try 1 Unit 6 「アルファベットとなかよし」
  - 【コ】 進んで自分の姓名の頭文字を伝え合おうとする
  - 【慣】 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ
  - 【気】 身の回りには活字体の大文字で表されているものがあることに気付く
    - ➔ 大文字の識別（身の回りからアルファベットの大文字を探したり、自分の姓名の頭文字を伝え合ったりする活動等を行う。）
- ・ 全ユニットを通して
  - ➔ ピクチャーカードに文字も明記するが、あくまで補助的に明記し、文字を使った指導（活動）は行わない。

### H30 第4学年

#### 文字（アルファベット大文字）の認識

- ・ Let's Try 1 Unit 6 「アルファベットとなかよし」
  - 【コ】 進んで自分の姓名の頭文字を伝え合おうとする
  - 【慣】 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ
  - 【気】 身の回りには活字体の大文字で表されているものがあることに気付く
    - ➔ 大文字の識別（身の回りからアルファベットの大文字を探したり、自分の姓名の頭文字を伝え合ったりする活動等を行う。）
- ・ 全ユニットを通して
  - ➔ ピクチャーカードに文字も明記するが、あくまで補助的に明記し、文字を使った指導（活動）はしない。

文字（アルファベット大文字・小文字）の認識  
文字（アルファベット大文字・小文字）の名前読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）の音読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）を書く  
語句、表現の書き写し  
例文を参考に、英文を書く

・ Hi, friends1 Lesson 6 「アルファベットをさがそう」

【コ】 進んで、欲しいものを尋ねたり答えたり、活字体の大文字を読んだりしようとする。

【慣】 欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  
また、活字体の大文字とその読み方（名称）に慣れ親しむ。

【気】 身の回りにはアルファベットの文字で表されているものが多いことに気付く。

- ⇒ ・大文字の認識（譜面からアルファベットの大文字を探したり、自分の姓名の頭文字を伝え合う活動等を行う。）  
・大文字の「名前読み」の活動をする。

・ Let's Try 2 Unit 6 「アルファベットで文字遊びをしよう」

【コ】 アルファベットの文字について尋ねたり、答えたりしようとする。

【慣】 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

【気】 身の回りにはアルファベットの活字体の小文字で表されているものがあることに気付く。

- ⇒ ・活字体（アルファベットの小文字）を読む活動（名前読み）。  
・小文字の認識（地域の看板や身の回りのものからアルファベットの小文字を探したりする活動等を行う。）

・ We can 1 Unit 1 「アルファベット・自己紹介」

【コ】進んで、簡単な自己紹介をしようとする。

【慣】好きなものや、欲しいものなどを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を読むことに慣れ親しむ。

○このユニットは書くよりも名前読みに重点を置くようにする。

- ⇒
- ・活字体の文字で自分の名前を書いたり、そのつづりを言ったりする。(アルファベットの名前読み)
  - ・ローマ字のヘボン式に出会い直し  
(少なくとも自分の名前はヘボン式で綴れるようにする。)  
\* Hi, friends! Plus ワークシート③「Let's write6」を活用  
(大文字のみ使用)  
又は  
\* 新教材ワークシート1-1「自分の名前」を活用  
(大文字、小文字併用)

・ We can 1 Unit 3 「学校生活・教科・職業」

【コ】進んで教科について尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。

【気】世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付く。

- ⇒
- ・活字体 (アルファベットの大文字) を読む (名前読み)。
  - ・活字体 (アルファベットの大文字) を4線に書く活動。  
\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用  
\* 新教材ワークシート2-5 ～ 2-10 を活用

・ We can 1 Unit 5 「できること」

【コ】自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。

【慣】自分や第三者について、できることやできないことを尋ねり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、小文字を読むことに慣れ親しむ。

【気】言語や人、それぞれに違いがあることに気付く。

- ⇒
- ・活字体 (アルファベットの小文字) を読む (名前読み)。
  - ・アニマルジングル (P.39) を言う。(大・小文字の「音」の慣れ親しみ)

・ We can 1 Unit 7 「位置と場所」

【コ】 進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。

【慣】 道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。

【気】 日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。

- ⇒
- ・ 活字体 (アルファベットの小文字) を読む活動 (名前読み)。
  - ・ 活字体 (アルファベットの小文字) を 4 線に書く活動。  
\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用  
\* 新教材ワークシート 4-7 ~ 4-14 を活用
  - ・ アルファベットジングルを言う。(P.22) (小文字の音の慣れ親しみ)

・ We can 1 Unit 9 「あこがれの人」

【コ】 自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。

【慣】 第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、文字 (大文字・小文字) を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。

【気】 英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。

- ⇒
- ・ 活字体 (アルファベットの大小文字) を読む活動 (名前読み)。
  - ・ 活字体 (アルファベットの大小文字) を 4 線に書く活動。  
\* Unit 3・7 で活用したワークシート
  - ・ 語と語の区切りに注意して、ある人を紹介している簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例文を参考に文を書く活動。  
\* Let's do *Kakiutshi!* 9-A を活用。  
\* 新教材ワークシート 9-1 ~ 9-5 を活用。  
(各ワークシート書き写し用と例文を参考に英文を書く活動を行う。)
  - ・ フードジングルを言う。(P.59) (大小文字の音の慣れ親しみ)

文字（アルファベット小文字）の認識  
文字（アルファベット大文字・小文字）の名前読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）の音読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）を書く  
語句、表現の書き写し  
例文を参考に、英文を書く

・ Hi, friends 2 Lesson 1 「アルファベットクイズをつくろう」

【コ】 進んで、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】 31～100 の数の言い方や、ある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。

【気】 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付く。

- ⇒ ・身の回りから、アルファベットの文字であらわされているものを探す。（認識）  
・活字体（アルファベットの小文字）を読む活動（名前読み）。

・ Hi, friends 2 Lesson 2 「友達の誕生日を調べよう」

【コ】 進んで、誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】 月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。

【気】 世界には、様々な祭りや行事があることに気付く。

- ⇒ ・活字体（アルファベットの小文字）を読む活動（名前読み）。  
・簡単な語句を書き写して、バースデーカードを作成する活動。

・ Hi, friends 2 Lesson 3 「できることを紹介しよう」

【コ】進んで、できることを尋ねたり，自分のできることやできないことを答えたりしようとする。

【慣】自分についてできる，できないことを表したり，できるかどうかを尋ねたりする表現に慣れ親しむ。また，活字体の大文字を書くことに慣れ親しむ。

【気】言語や人，それぞれに違いがあることを知る。

⇒ ・活字体（アルファベットの大文字）を4線に書く活動。

\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用

\* 新教材ワークシート 2-5 ～ 2-10 を活用

・ We can 1 Unit 5 「できること」

【コ】第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。

【慣】第三者について，できることやできないことを尋ねり言ったりする表現に慣れ親しむ。

⇒ アニマルジングル（P.39）を言う。（大・小文字の「音」の慣れ親しみ）

\* このユニットから「音」の慣れ親しみの活動を行う。

・ Hi, friends 2 Lesson 4 「道案内をしよう」

【コ】進んで，道を尋ねたり，道案内をしたりしようとする。

【慣】道案内や，物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また，活字体の小文字を書くことに慣れ親しむ。

【気】英語と日本語での建物の表し方の違いに気付く。

⇒ ・活字体（アルファベットの小文字）を4線に書く活動。

\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用

\* 新教材ワークシート 4-7 ～ 4-14 を活用

・アルファベットジングルを言う。（大・小文字の音の慣れ親しみ）

\* Hi, friends! Plus ジングルを扱う。

- Hi, friends 2 Lesson 5 「友達を旅行に誘おう」
  - 【コ】進んで、おすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりしようとする。
  - 【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な語を書き写すことに慣れ親しむ。
  - 【気】世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。
  
- ⇒
  - 行きたい国の名前を書き写し、行きたい国のポスターを作成する。
    - \*Let's do *Kakiutsushi!* 5-A ~ 5-C 活用
  - アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)
    - \*Hi, friends! Plus ジングルを扱う。
  
- Hi, friends 2 Lesson 6 「一日の生活を紹介しよう」
  - 【コ】進んで、自分の一日を紹介したり、友達の一日を聞き取ったりしようとする。
  - 【慣】一日の生活について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。
  - 【気】世界には時差があることに気付く、様々な生活が営まれていることに気付く。
  
- ⇒
  - 簡単な表現を書き写す活動
    - \*Let's do *Kakiutsushi!* 6-A, 6-B 活用
  - アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)
    - \*Hi, friends! Plus ジングルを扱う。

・ Hi, friends 2 Lesson 8 「夢宣言をしよう」

【コ】 進んで、自分の将来の夢について交流しようとする。

【慣】 どのような職業に就きたいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

【気】 世界には様々な夢をもつ同年代の子供たちがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。

⇒ ・ アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)

\* Hi, friends! Plus ジングルを扱う。

・ We can 1 Unit 9 「あこがれの人」

【コ】 自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。

【慣】 第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。

⇒ ・ 活字体 (アルファベットの大小文字) を 4 線に書く活動。

・ アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)

\* Hi, friends! Plus ジングルを扱う。

・ We can 2 Unit 1 「自己紹介」

【コ】 好きなことなどを含めて自分のことを伝え合おうとする。

【慣】 自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを表す表現に慣れ親しむ。

⇒ ・ 自分の名前を活字体の文字で書く。(大文字・小文字)

\* ローマ字のヘボン式の扱い

・ We can 2 Unit 3 「人物紹介」

【慣】 自分や第三者ができることやできないことを表す表現に慣れ親しむ。また、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。

【気】 <主語+動詞+目的語>の文の語順に気付く。

⇒ ・ 例を参考に英文を書く活動。

\* 新教材ワークシート 3-1 を活用

- ・ We can 2 Unit 4 「自分たちの町・地域」
  - 【慣】地域にどのような施設があるのか，また欲しいのか，さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また，書くことに慣れ親しむ。
  - ⇒
    - ・文を書き写す活動。
    - \*Let's do *kakiutsushi* 4-A 4-B 活用。
    - ・例文を参考に英文を書く活動。
    - \*新教材ワークシート 4-1～4-3 を活用
  
- ・ We can 2 Unit 5 「夏休みの思い出」
  - 【コ】進んで，夏休みの思い出について伝え合おうとする。
  - 【慣】夏休みに行った場所や食べた物，楽しんだこと，感想などを表す表現に慣れ親しむ。また，夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり，例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。
  - 【気】英語の書き方の規則に気付く。
  - ⇒
    - ・簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動
    - \* P.39 Let's Read and Watch
    - ・例文を参考に英文を書く活動。
    - \*新教材ワークシート 5-1 ～ 5-6 を活用
  
- ・ We can 2 Unit 7 「小学校生活・思い出」
  - 【コ】思い出の学校行事について伝え合おうとする。
  - 【慣】学校行事について表す表現に慣れ親しむ。また，学校行事について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり，例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。
  - 【気】英語の書き方の規則に気付く。
  - ⇒
    - ・簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動
    - \*新教材ワークシート 7-7
    - ・例文を参考に英文を書く活動。
    - \*新教材ワークシート 7-1 ～ 7-6, 7-8 を活用

・ We can 2 Unit 9 「中学校生活・部活動」

【コ】 進んで，中学校生活について伝え合おうとする。

【慣】 中学校の部活動や学校行事などについて自分の考えを表す表現に慣れ親しむ。中学校生活について書かれている英語を推測しながら読むことに慣れ親しむ。

【気】 身の回りには英語が使われている場面があることに気付く。

- ⇒
- ・ 簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動
  - \*P.72 Activity
  - ・ 例文を参考に英文を書く活動。
  - \*新教材ワークシート 9-1 ～ 9-5 を活用

平成31年度（移行期2年目）

### H31 第3学年

### 文字（アルファベット大文字）の認識

- ・ Let's Try 1 Unit 6 「アルファベットとなかよし」
  - 【コ】 進んで自分の姓名の頭文字を伝え合おうとする
  - 【慣】 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ
  - 【気】 身の回りには活字体の大文字で表されているものがあることに気付く
- ⇒ 大文字の識別（身の回りからアルファベットの大文字を探したり、自分の姓名の頭文字を伝え合ったりする活動等を行う。）
- ・ 全ユニットを通して
- ⇒ ピクチャーカードに文字も明記するが、あくまで補助的に明記し、文字を使った指導（活動）は行わない。

### H31 第4学年

### 文字（アルファベット小文字）の認識

- ・ Let's Try 2 Unit 6 「アルファベットで文字遊びをしよう」
  - 【コ】 進んで、アルファベットの文字について尋ねたり答えたりしようとする。
  - 【慣】 活字体の小文字と、その読み方に慣れ親しむ。
  - 【気】 身の回りにはアルファベットの活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付く。
- ⇒ 小文字の識別（身の回りからアルファベットの小文字を探したり、アルファベットクイズを作ったりする活動等を行う。）
- ・ 全ユニットを通して
- ⇒ ピクチャーカードに文字も明記するが、あくまで補助的に明記し、文字を使った指導（活動）はしない。

文字（アルファベット大文字・小文字）の名前読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）の音読み  
文字（アルファベット大文字・小文字）を書く  
語句、表現の書き写し  
例文を参考に、英文を書く

・ Let's Try 2 Unit 6 「アルファベットで文字遊びをしよう」

【コ】 進んで、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

【慣】 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

【気】 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。

⇒ ・小文字の識別（身の回りからアルファベットの小文字を探したり、アルファベットクイズを作ったりする活動等を行う。）

・活字体（アルファベットの小文字）を読む活動（名前読み）。

・ We can 1 Unit 1 「アルファベット・自己紹介」

【コ】 進んで、簡単な自己紹介をしようとする。

【慣】 好きなものや、欲しいものなどを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を読むことに慣れ親しむ。

○このユニットは書くよりも名前読みに重点を置くようにする。

⇒ ・活字体の文字で自分の名前を書いたり、そのつづりを言ったりする。（アルファベットの名前読み）

・ローマ字のヘボン式に出会い直し  
（少なくとも自分の名前や姓父はヘボン式で綴れるようにする。）

\* Hi, friends! Plus ワークシート③「Let's write6」を活用  
（大文字のみ使用）

\* Hi, friends! Plus ワークシート⑧「Let's write1」を活用  
（大文字・小文字のみ使用）

\* 新教材ワークシート1-1「自分の名前」を活用  
（大文字、小文字併用）

・ We can 1 Unit 2 「行事・誕生日」

【コ】 進んで、誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】 月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の大文字を書くことに慣れ親しむ。

【気】 世界には、様々な祭りや行事があることに気付く。

- ⇒ ・活字体（アルファベットの大文字）を4線に書く活動。  
\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用  
\* 新教材ワークシート 2-5 ～ 2-10 を活用

・ We can 1 Unit 3 「学校生活・教科・職業」

【コ】 進んで教科について尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】 教科について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を読むことに慣れ親しむ。

【気】 世界には様々な学校があり、日本と世界の学校生活の共通点と相違点に気付く。

- ⇒ ・活字体（アルファベットの小文字）を読む活動（名前読み）。

・ We can 1 Unit 4 「一日の生活」

【コ】 進んで、自分の一日の生活について伝え合おうとする。

【慣】 一日の生活について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を書くことに慣れ親しむ。

【気】 世界には時差があることに気付く、様々な生活が営まれていることに気付く。

- ⇒ ・活字体（アルファベットの小文字）を4線に書く活動。  
\* Hi, friends! Plus ワークシート①～③を活用  
\* 新教材ワークシート 4-7 ～ 4-14 を活用

・ We can 1 Unit 5 「できること」

【コ】 進んで、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。

【慣】 自分や第三者について、できることやできないことを尋ねり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、文字の音に慣れ親しむ。

【気】 言語にはそれぞれ特色があり、アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。

- ⇒ ・アニマルジングルを言う。(P.39) (大・小文字の音の慣れ親しみ)  
・簡単な語句を書き写す活動。  
\*Let's do *kakiutsushi* 5-A ~ 5-C を活用。

・ We can 1 Unit 7 「位置と場所」

【コ】進んで、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。

【慣】道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な語句を書き写すことや、文字の音に慣れ親しむ。

【気】日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。

- ⇒ ・アルファベットジングルを言う。(P.22) (大・小文字の音の慣れ親しみ)  
\*新教材ワークシート 7-4 を活用。  
・簡単な語句を書き写す活動。  
\*新教材ワークシート 7-1 を活用。  
\*Let's do *Kakiutsushi!* 7-A ~ 7-C を活用。  
・活字体の文字を書く活動。  
\*新教材ワークシート 7-2, 7-3, 7-5 を活用。

・ We can 1 Unit 8 「料理・値段」

【コ】進んで、丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な語句を書き写すことや、文字の音に慣れ親しむ。

【気】英語にも欲しいものを尋ねたり言ったりする表現があることに気付く。

- ⇒ ・フードジングルを言う。(P.58) (大・小文字の音の慣れ親しみ)  
\*新教材ワークシート 8-8 を活用。  
・簡単な語句を書き写す活動。  
\*新教材ワークシート 8-1 を活用。  
\*Let's do *Kakiutsushi!* 8-A ~ 8-C を活用。  
・活字体の文字を書く活動。  
\*Hi, friends! Plus ワークシートを活用。

・ We can 1 Unit 9 「あこがれの人」

【コ】自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。

【慣】第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、簡単な語句や表現を書き写すことや、文字の音に慣れ親しむ。

【気】英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。

⇒ ・カントリーズジングルを言う。(P.48) (大・小文字の音の慣れ親しみ)

＊新教材ワークシート 8-8 を活用。

・簡単な語句や表現を書き写す活動。

＊Let's do *Kakiutsushi!* 9-A ~ 9-C を活用。

・例文を参考に英文を書く活動。

＊新教材ワークシート 9-1 ~ 9-5 を活用。

・活字体の文字を書く活動。

＊Hi, friends! Plus ワークシートを活用。

H31 第6学年

文字 (アルファベット小文字) の認識

文字 (アルファベット大文字・小文字) の名前読み

文字 (アルファベット大文字・小文字) の音読み

文字 (アルファベット大文字・小文字) を書く

語句、表現の書き写し

例文を参考に、英文を書く

・ Hi, friends 2 Lesson 2 「友達の誕生日を調べよう」

【コ】進んで、誕生日を尋ねたり答えたりしようとする。

【慣】月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。

【気】世界には、様々な祭りや行事があることに気付く。

⇒ ・活字体 (アルファベットの小文字) を読む活動 (名前読み)。

・簡単な語句を書き写して、バースデーカードを作成する活動。

・ Hi, friends 2 Lesson 5 「友達を旅行に誘おう」

【コ】進んで、おすすめの国について発表したり、友達の発表を聞いたりしようとする。

【慣】行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。また、文字には読み方のほかに音があることに慣れ親しみ、簡単な語を書き写すことに慣れ親しむ。

【気】文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付くとともに、世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

⇒ ・アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)

\*Hi, friends! Plus ジングルを扱う

・行きたい国の名前を書き写し、行きたい国のポスターを作成する。

\*Let's do *Kakiutsushi!* 5-A ~ 5-C 活用

・ Hi, friends 2 Lesson 6 「一日の生活を紹介しよう」

【コ】進んで、自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりしようとする。

【慣】一日の生活について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。

【気】世界には時差があることに気づき、様々な生活が営まれていることに気付く。

⇒ 簡単な表現を書き写す活動

\*Let's do *Kakiutsushi!* 6-A 活用

・ Hi, friends 2 Lesson 8 「夢宣言をしよう」

【コ】進んで、自分の将来の夢について交流しようとする。

【慣】どのような職業に就きたいか尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、文字の音や簡単な表現を書き写すことに慣れ親しむ。

【気】世界には様々な夢をもつ同年代の子供たちがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。

- ⇒ ・アルファベットジングルを言う。(大・小文字の音の慣れ親しみ)  
 \*Hi, friends! Plus ジングルを扱う。  
 ・簡単な表現を書き写す活動  
 \*Let's do *Kakiutsushi!* 8-A 活用

・ We can 2 Unit 1 「自己紹介」

- 【コ】好きなことなどを含めて自分のことを伝え合おうとする。  
 【慣】自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを表す表現に慣れ親しむ。また、活字体の文字で自分の名前を書いたり、その綴りを言ったりすることに慣れ親しむ。  
 【気】英語での名前の表記の仕方に気付く。

- ⇒ ・自分の名前を活字体の文字で書く。(大文字・小文字)  
 \*ローマ字のヘボン式の扱い  
 ・自分の名前のつづりを読む。(アルファベット大文字・小文字の名前読み)  
 ・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。  
 \*新教材 Story Time 又は  
 Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用

・ We can 2 Unit 3 「人物紹介」

- 【コ】進んで、自分や第三者についてできることやできないことなどを伝え合おうとする。  
 【慣】自分や第三者ができることやできないこと、何が好き、を表す表現に慣れ親しむ。また、例を参考に紹介する文を書くことに慣れ親しむ。  
 【気】<主語+動詞+目的語>の文の語順に気付く。

- ⇒ ・例を参考に英文を書く活動。  
 \*新教材ワークシート 3-1 を活用  
 ・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。  
 \*新教材 Story Time 又は  
 Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用

・ We can 2 Unit 4 「自分たちの町・地域」

【コ】進んで、地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。

【慣】地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また、書くことに慣れ親しむ。

【気】日本語と英語の語順の違いに気付く。

⇒ ・ 文を書き写す活動。

\* Let's do *kakiutsushi* 4-A 4-B 活用。

・ 例文を参考に英文を書く活動。

\* 新教材ワークシート 4-1 ~ 4-4 を活用。

・ 絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。

\* 新教材 Story Time 又は

Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用

・ We can 2 Unit 5 「夏休みの思い出」

【コ】進んで、夏休みの思い出について伝え合おうとする。

【慣】夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを表す表現に慣れ親しむ。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。

【気】英語の書き方の規則に気付く。

⇒ ・ 簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動

\* P.39 Let's Read and Watch

・ 例文を参考に英文を書く活動。

\* 新教材ワークシート 5-1 ~ 5-6 を活用。

・ 絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。

\* 新教材 Story Time 又は

Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用

・ We can 2 Unit 7 「小学校生活・思い出」

【コ】 思い出の学校行事について伝え合おうとする。

【慣】 学校行事について表す表現に慣れ親しむ。また、学校行事について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。

【気】 英語の書き方の規則に気付く。

- ⇒
- ・ 簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動
    - \* 新教材ワークシート 7-7
  - ・ 例文を参考に英文を書く活動。
    - \* 新教材ワークシート 7-1 ~ 7-6, 7-8 を活用
  - ・ 絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。
    - \* 新教材 Story Time 又は Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用

・ We can 2 Unit 9 「中学校生活・部活動」

【コ】 進んで、中学校生活について伝え合おうとする。

【慣】 中学校の部活動や学校行事などについて自分の考えを表す表現に慣れ親しむ。中学校生活について書かれている英語を推測しながら読むことに慣れ親しむ。

【気】 身の回りには英語が使われている場面があることに気付く。

- ⇒
- ・ 簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む活動
    - \* P.72 Activity
  - ・ 例文を参考に英文を書く活動。
    - \* 新教材ワークシート 9-1 ~ 9-5 を活用
  - ・ 絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする活動。
    - \* 新教材 Story Time 又は Hi, friends Plus デジタル絵本 を活用